

第5回自治会館建設委員会議事録

日 時 2018年 8月 10日(金)

場 所 つくし野コミュニティーセンター第1会議室

1 第4回委員会以降の経過について

- 7/17日 事業計画申請書についての市への質問(友井説明)
市の回答・事業計画申請書は建設事業に関する事なので、建設後の運営についての規約などは、概要を記載すれば足りる。(地元向けには詰める必要がある。)
・建物平面図添付の必要はないが粗々のものがあれば参考に提出してもよい。
- 7/20日 システム検討チーム会合開催(内容は下記)
- 7/23日 ふれあい基金運営委員会へ説明(鶴養委員長説明)
建築委員会の現状と9月から10月のアンケート実施について説明した。
ふれあい委員は建設に疑問を持っている委員がかなりいると聞いているので、丁寧な対応が必要である。
- 8/3日 建設構想チーム会合開催(内容は下記)

2 各チーム検討(案)報告と検討

○会館設計構想チーム(鈴木リーダー説明)

- ・総2階の平面図で説明。200㎡以上はホームエレベータはだめ。条例から建坪は200㎡以下とする。
- ・7つの拠点づくりのコンセプトをもとに設計したい。
- ・方向性としては、「1階平屋建て木造」、「総2階建て木造」の二つの案に絞って提案したい。

質問 ・小川会館の2階の和室は利用率が大変低い、2階にあるからなのか、和室だからなのか。
→他の会館やつくし野センターも和室の利用率が低いので、2階のせいではない。

- 意見 ・2階建ては、駐車場スペースをとることができる。
・2階建ては基礎が狭くなるので低廉というが、エレベーターと2階トイレの費用、階段スペースの無駄などデメリットもある。究極のバリアフリーは平屋建。平屋でも部屋の広さが確保できればいい。
・どの会館もホールのような広い部屋の利用率が高い。
狭い部屋3つ作っても利用率は上がらない。
・7つのコンセプトと事業計画申請書案の「必要性」の整合性を図る必要がある。

○システム検討チーム(中村氏説明)

- ・運営委員会と自治会の関連性について
「運営委員は自治会から選出」、「自治会から自立する組織(自治会館という名称は避ける)」、「運営費用、修繕費などは委員会の負担」、「やむを得ぬ運営費の欠損は自治会連合と協議」、「大規模修繕のための積立」、「予算決算を自治会総会に報告」など
- ・自治会館運営使用の考え方
「利用主体は自治会会員以外も可」、
「営利団体、政治団体、暴力団、宗教団体、葬儀は利用制限」、